

# 令和6年度第3回岡山市総合教育会議

日 時：令和7年2月4日（火）

午後3時30分～

場 所：岡山市役所本庁舎3階 第3会議室

## 会 議 次 第

1 開 会

2 協議事項

(1) 第2期教育大綱における指標の達成状況と今後の取組について

(2) SNSの普及に伴う弊害について

3 閉 会

## 第2期教育大綱における指標の達成状況

## 基礎となる2つの目標について

指標	目標値 (R7)	基準値 (R1)	現状値 (R6)	達成状況
全国平均レベル以上の学力 全国学力・学習状況調査の偏差値 【参考資料①】	50以上	小国51 算50 中国50 数50	小国50 算50 中国50 数50	<b>達成</b>
新規不登校児童生徒の減少 新規不登校児童生徒（小・中合計）の出現率 【参考資料④】	0.47%以下	0.81% (H30実績)	1.35% (R5 実績)	<b>未達成</b>

## 育む5つの力について（活用力・表現力・向上心・社会性・人権尊重の精神）

\*「全国学力・学習状況調査」における質問項目がなくなったため、教育に関する総合調査の数値で代用

	指標	目標値 (R7)	基準値 (R1)	現状値 (R6)	達成状況	
学力向上	自分の考えを整理して伝えることができる児童生徒の増加 【参考資料②】	全国学力・学習状況調査の記述式問題の正答率	対全国比1以上	小 1.00 中 0.99	<b>概ね達成</b>	
	情報を収集し、考えをまとめて発表している児童生徒の増加 【参考資料③】	探究的な学習をしていると感じる児童生徒の割合	全国平均レベル以上	小 67.5% (+1.8%) 中 59.9% (-1.6%)	小 78.3% (-3.0%) 中 80.0% (-2.2%)	<b>未達成</b>
学級集団づくり	協力しようとする児童生徒の増加 【参考資料⑤】	協力して取り組んだことがうれしいと感じる児童生徒の割合	基準値から5ポイント以上上昇	小 89.5% 中 83.9%	*小 87.0% *中 88.6%	<b>未達成</b>
	人を大切にできる児童生徒の増加 【参考資料⑥】	人が困っているときに進んで助けると考える児童生徒の割合	基準値から5ポイント以上上昇	小 86.6% 中 84.6%	小 84.9% 中 81.2%	<b>未達成</b>

## 第2期教育大綱における取組の評価及び分析

## 教育委員会の取組

## 学力向上に関する指標について

- ・ 授業づくりの基本となるリーフレットの作成
- ・ 授業動画、通信等による参考資料の提供
- ・ 授業研究会、校内研修等における指導助言
- ・ 探究的な学習の充実を図る研修会の実施
- ・ ICTの活用支援と先進事例の共有
- ・ 各学校の授業改善促進に向けた、学校訪問時の管理職との面談

## 学級集団づくりに関する指標について

- ・ 学級集団づくりの参考となるリーフレットの作成
- ・ 各学校が一人一人の子どもに応じた支援を充実できるよう、質問紙調査の導入及び活用方法に関する研修会の実施
- ・ 思いやりの心、規範意識等の育成を目指した道徳の授業公開及び協議会の実施

## 評価・分析

- 全国平均レベル以上の学力は5年連続で達成【参考資料①】
- 全国学力・学習状況調査の記述式問題の正答率は概ね達成（令和5年度は小・中ともに達成）【参考資料②】
- ICTを効果的に活用した授業づくりが進み、探究的な学習をしていると感じる児童生徒の割合は、全国平均には達していないものの、数値は小学校で10ポイント、中学校で20ポイント以上上昇【参考資料③】
- 学級集団づくりに関する他の質問をみると、
  - ・ 「人の役に立つ人間になりたいと思う」
  - ・ 「いじめは、どんな理由があってもいけない」と回答した児童生徒の割合は、ともに9割以上で、全国平均レベルであることから、岡山市の子どもは人と関わることに肯定的である。【参考資料⑦】
- ▲ 指標である「協力しようとする児童生徒」及び「人を大切にできる児童生徒」の目標値に到達していないのは、実践する力が十分に育っていないと考えられる。【参考資料⑤⑥】

## 取組の方向性

効果あり  
取組は継続効果あり  
取組は継続取組の改善  
が必要

子どもの「実践力」につながる新たな取組が必要  
～子どもが「やってみよう」と思えるように～

## 第2期教育大綱の指標の達成状況（経年比較）

### 学力向上に関する指標について

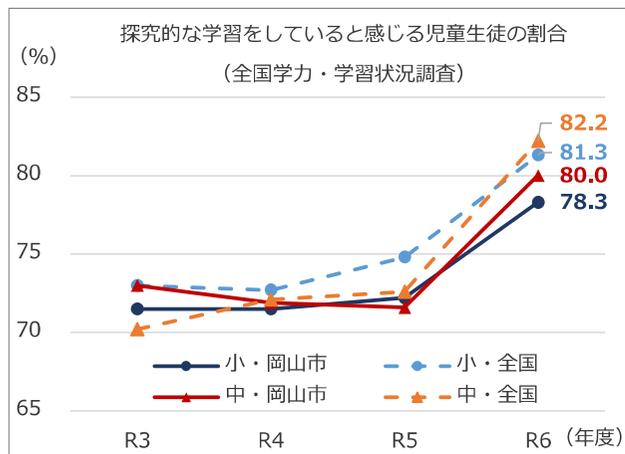
#### ① 偏差値（全国学力・学習状況調査）

		R3	R4	R5	R6
小学校	国語	50	51	50	<b>50</b>
	算数	50	50	50	<b>50</b>
中学校	国語	50	50	50	<b>50</b>
	数学	50	50	51	<b>50</b>
	英語			50	

#### ② 記述式問題の正答率（全国学力・学習状況調査）

		R3	R4	R5	R6
小学校		1.01	1.03	1.01	<b>1.00</b>
中学校		0.98	0.99	1.00	<b>0.99</b>

#### ③ 探究的な学習

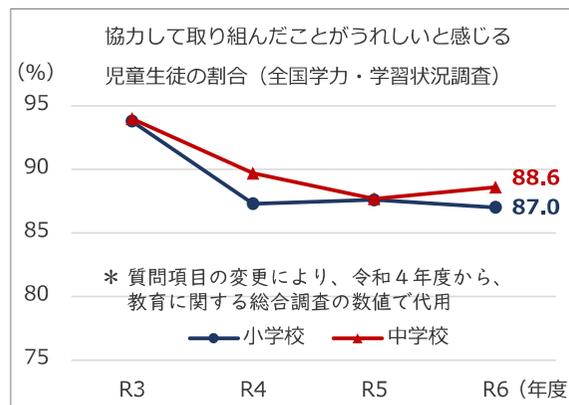


### 学級集団づくりに関する指標について

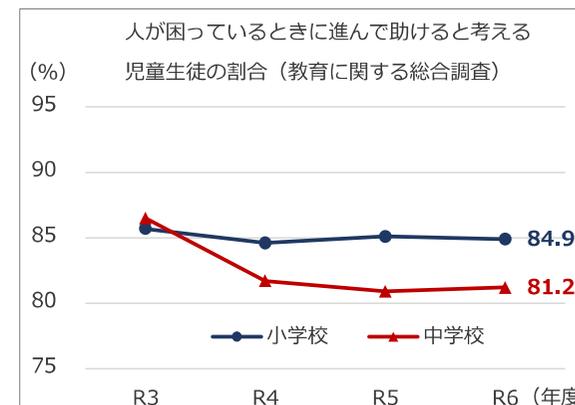
#### ④ 新規不登校児童生徒の出現率（児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査）

	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
岡山市	0.81	0.90	1.04	1.18	1.35
全国	0.90	1.00	1.31	1.64	1.77

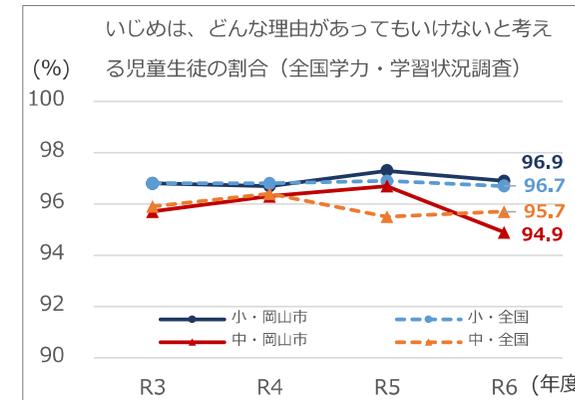
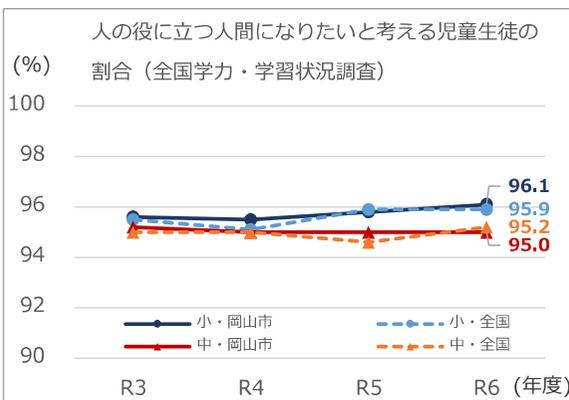
#### ⑤ 協力しようとする児童生徒



#### ⑥ 人を大切にできる児童生徒



#### ⑦ 学級集団づくりに関する他の質問



# 子どもの「実践力」の育成に向けた取組例

## 子どもの「やってみよう」を高めるために

<R5~R7の取組>

教科学習における「ふりかえり」を徹底する

できるようになったことを実感

- 【ふりかえりの視点】
- ・友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりできたこと
  - ・学習した内容について、もっと知りたいと感じることや新たに疑問に感じること

次の学習への意欲を高める



<R7の重点的な取組>

他者と協働して取り組むことがより重要な教科等（特別活動や総合的な学習の時間）においても「ふりかえり」を充実させる

学校の取組（行事や総合的な学習の時間などを通して）

- ・学校行事等の前に、学年や学級の目標に向けて自分がかんばることを明らかにして「めあて」を立てる。
- ・自分の「めあて」について、頑張ったことや成長できたことについてふりかえり、次につなげる。

教育委員会の取組

- ・がんばりカードの提供
- ・特別活動の充実に向けた研修の実施

「ふりかえり」は次の学習への動機付けという点において、学力向上の取組に有効である。



今後は、「ふりかえり」を教科の学習以外に広げていくことで、子どもの意欲が高まり、集団の中で、自分の役割を果たそうとするのではないかと考える。

## 子どもが「やってみよう」と思える環境づくりに向けて

全ての学校に対して



特に、問題行動等が多発している学校に対して

教員向け資料を配付し、研修の実施方法の具体例を周知する。

好事例

事例をもとに、質問紙調査の分析を支援する（一緒に行う）。

教員の指導力向上

子どもが安心して挑戦できる学級集団づくり

## SNSの普及に伴う弊害について

## 【SNSの弊害】

匿名による誹謗中傷、虚偽情報や名誉を棄損する投稿、わいせつ情報の流布、詐欺等による被害 など

だからこそ

## 子どもたちをSNSの被害者にも加害者にもさせない

子どもは・・・情報モラル、情報リテラシー（識字能力）を身に付ける  
保護者は・・・現状を把握し、家庭で指導する  
地域は・・・善悪を判断できる社会風潮を醸成する

そのために

## 教育委員会の取組

- 質問紙調査や教育相談による実態把握
- 生徒指導の充実
- 道徳教育の充実
- 家庭との情報共有
- 警察と連携した非行防止教室



- ◆ 教育長メッセージ発出
- ◆ リーフレット発出



## 学校・地域の取組

- リーフレットを活用した周知・啓発・協議
  - ・ 校長会（小・中・義務教育・高等学校長）
  - ・ 学校運営協議会（地域住民・団体代表）
  - ・ PTA総会（保護者）
  - ・ 研修会（生徒指導、SC、警察、福祉機関）
  - ・ 生徒会の集い（市立中学校全生徒会代表）
  - ・ 学級での話合い（児童生徒）